

報告書

日時	令和元年8月10日(土)19時00分～20時30分	記録者	吉原 敦 議員
場所	新宮公民館	参加数	39人(うち女性16人)

質疑・応答記録(要点筆記)

男女	住所	名前	質疑・応答内容	回答者
男性	黒田	高橋	<p>【要望】</p> <p>議会報告会について、川之江、三島、土居で開催される際に、新宮が含まれていなかった。忘れられていたのか。</p> <p>霧の森の渋滞緩和対策について、夏に川遊びで新宮に来る人は多い。駐車場が約150台しか駐車できないことから、渋滞が発生する。霧の森のほかにも新宮で川遊びができる。去年も言ったが、ほかにも川遊びができるという看板などを設置してほしい。霧の森以外の川にも分散できれば渋滞緩和になると思う。</p> <p>今年末の工事になると思うが、新たに駐車場を広げる計画がある。50台ほどふえるとの事だが、土日や祝日には人が多く来るので、この50台分だけでも有料駐車場にしてみてもどうか。このことにより市の財政も潤うのでは。このような提言を議員から市長にしていきたい。</p> <p>【回答】</p> <p>議会報告会について、川之江、三島、土居の3地区で最初は開催するという話で、決して新宮、嶺南を忘れていたわけではない。市内の各公民館単位での議会報告会の開催となっている。</p> <p>駐車場について、市の土地であり霧の森が所有している。また、新しくできる駐車場については、新設ではなく増設になる。増設になると、有料駐車場にすることは難しいのではないかと。駐車料金をいただくとなれば、条例の改正も必要ではないかと思う。このようなこともあり今後、協議していく必要があると考える。</p>	<p>石津議員</p> <p>山本議員</p>

			<p>川遊びに来る人は、利用しやすい駐車場を使っているものだと考え、川遊びに来ている人の自己責任で利用して遊んでいただければと思う。</p> <p>また、新しい川遊びの場を創設することについては、近年の雨量等の関係で河川の増水や土砂崩れなどで形態が変わっていると思うので、そこを管理していくことと、路上駐車の問題について適地を探すことは、自然とも向き合っていくことになるので、今すぐには難しいと考える。</p>	
女性	黒田	三鍋	<p>【質問①】</p> <p>昨年度お願いをしていたが、新庁舎が完成した時に、荷物を入れるロッカーもしくは荷物預かり所の設置を要望したが、検討していくとお答えをいただいたがどうなったか。</p> <p>【回答①】</p> <p>当日、市民交流棟にコインロッカーがあると回答しましたが、回答した議員に誤解がありました。設置されておりません。お詫びいたします。</p> <p>本庁の方に場所について検討はしたが、設置場所が確保できないとの事である。</p> <p>【質問②】</p> <p>しこちゅ〜ホールについて、イベントや講演が計画されているが、夜間の講演後の交通機関についてどのような計画がされているのか。四国各県から来場する方や、自家用車でない方もいると思う。公共交通を利用する方も多いのではないのか。JRからも遠いという事からシャトルバスなどの検討はされているのか。</p> <p>【回答②】</p> <p>シャトルバス等の話は聞いていないので、後日確認してみる。</p> <p>後日回答：現時点では企画はしていない。今後については、利用者の状況を見ながら検討したい。</p> <p>【要望】</p> <p>生活支援ハウスが休止になっている。大切な公共の施設であるので、いつでも利用できるように対応していただきたい。利用者がいないという理由で閉鎖にしないことや、冬場</p>	<p>三宅副議長</p> <p>石川剛議員</p> <p>新庁舎・文化ホール整備課からの回答</p>

		<p>だけでも利用すれば健康維持ができるのではないか。2042年には高齢者が日本全国で約3,900万人になるとのこと。今後高齢者を受け入れる介護施設を大切にしていきたい。</p> <p>【回答】</p> <p>生活支援ハウスについては、6月議会の際に質問をしたが、今現在応募する人がいないということで、中止にせざるを得ないということである。しかし、生活支援ハウスはどのようなものなのか、どのような条件の人が利用できるのか、周知徹底を不足してはいけないという事で、老人会や民生委員会など地域の状況に対して、協力をいただいている方に、生活支援ハウスの内容を情報提供して、応募者をふやせるように努力をしたいとのことである。生活支援ハウスが重要な施設だと認識しているので、廃止という方向性ではないとのこと。いろんな組織に周知徹底、また回覧もしているとのことなので、利用者が活用できる環境を作っていきたい。</p> <p>【要望】</p> <p>福祉バスの利便性について、町民の皆様が使えるように運営を考えていただきたい。高齢化や免許証返納などで移動手段の確保の要求は益々高くなる。病院や商業施設が利用できるように検討していただきたい。</p> <p>【回答】</p> <p>昨年4月から観光交通課に交通政策室が設置されており、そちらで市内の交通にはどのような政策が必要なのか、検討、協議していると聞いている。</p> <p>コンパクトシティ・プラス・ネットワークという形で、都市機能誘導区域や居住誘導区域があり、都市計画の中にこのような区域を集約していく計画がある。人も建物も街中へ集める計画だが、今区域外に住んでいる人たちをどうするのかという問題がある。その上で都市計画区域外、市内全体を視野に入れてネットワーク、交通手段の対策をする。</p>	<p>三好議員</p> <p>眞鍋議員</p> <p>三好議員</p>
--	--	--	-------------------------------------

		<p>【質問③】</p> <p>四国中央病院と三島医療センターを統合して、中核病院建設を計画されているとのことだが、5年後には必ず完成するのか。意欲的なことは聞くが、地質的には適当でないと聞く。このことから中止になるという事はないのか。</p> <p>【回答③】</p> <p>中核病院について、市内の病院のバランスをもとに、四国中央病院の移転となった。これは公立学校共済組合と市との協議を重ね、市長や市議会議員も学校法人へ陳情し、検討してほしいと要望してきた。しかし、移転となると埋め立て地ということから、液状化の心配がされる。このようなことに市は液状化対策などを講じなければならぬため、市は地質調査も含めて現在進めている。それに合わせて中核病院までのアクセスルートなど解決すべき点がかなりあるので、5年後完成の予定で進めているが、市が進めているのではなく、公立学校共済組合の計画に委ねられている部分もあるので、進捗状況を把握しながら、早く完成できるように市も協力できる部分は協力していく。</p>	<p>吉田議員</p>
--	--	--	-------------